



相良油田は太平洋岸唯一の産油地です。その歴史は明治5年、徳川家旗本村上正局が海老江で石油を発見したことから始まります。次いで、日本の石油王・石坂周造の知るところとなり、明治6年、菅ヶ谷に開坑、採油が始まりました。最初は手掘りにより掘削されましたが、この年の10月には米国製の綱掘り機により日本で最初の機械掘りが行われました。手掘り井戸の深さは、約100mから180mで、最深の井戸は255mにも及びました。

最盛期(明治17年頃)には年間721kl(約ドラム缶3,600本)が産出され、井戸数は240坑で約600人が働いていました。明治から昭和にかけて約80年間、相良の一大産業として広く知られましたが、徐々に衰退し昭和30年頃すべての事業を閉じました。

相良油田の原油はガソリンや灯油分を多く含んだ極めて軽質で、世界にも希にみる良質な原油です。



手掘り井戸小屋



● 交通のご案内

- マイカーで
東名相良牧之原 I.C より 10km15分
東名吉田 I.C より国道 150 号線経由 20km35分
東名菊川 I.C より 15km20分

● 園内施設 (無料)

- 相良油田資料館
 - 開館時間
午前 9 時～午後 4 時
 - 休館日
火曜日(火曜日が祝日の場合は翌日)
12月29日～1月3日
祝日の翌日(土日に当たる場合は、次の休館日の翌日)

バーベキューガーデン使用については資料館までお問い合わせください。

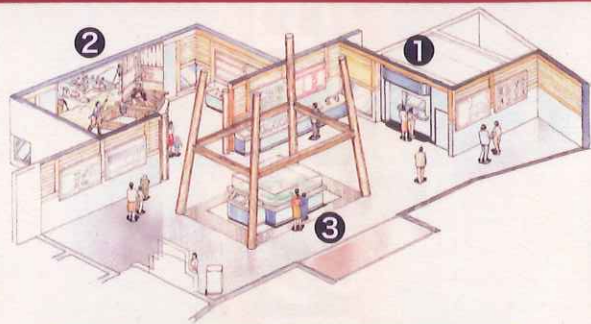
お問い合わせ

- 相良油田資料館
牧之原市菅ヶ谷 2525-1 TEL & FAX 0548-87-2525
- 牧之原市役所 市民生活部 環境課(相良庁舎 1 階)
TEL0548-53-2609 FAX0548-52-3244
URL <http://www.city.makinohara.shizuoka.jp>

相良 油田の里公園



牧之原市
MAKINOHARA



① 相良油田物語(ファンタズビジョン)

当時、どのように原油を汲み出していたのかを、模型と映像によりストーリー仕立てで説明します。採掘方法には手掘りと機械掘りがあります。



② 手掘井戸小屋内部ジオラマ

土を掘り上げる作業と井戸の底に空気を送り込む作業を、再現しています。



③ 油田周辺の地形模型

明治後期の相良油田にあった手掘り小屋や機械掘りのやぐらの位置が一目で確かめられます。

大地からの贈り物。地球のエネルギーを知ろう。
 ここらのエネルギーをためよう。
 一日ゆったり油田の里公園。

資源ってなんだろう？資源ってどうして大切なんだろう？
 相良にある資源は？そんな疑問をたくさん持って遊びにきてください。大好きな人とゆっくり過ごしてください。これが、この場所をたっぴりと楽しむコツです。相良油田の里公園。大自然の真ん中でお待ちしています。



公園には
 十数種類の
 油の採れる植物が
 植えられています。



⑤ バーベキューガーデン

家族や仲間と楽しいバーベキューパーティーはいかがですか。



⑥ 遊具広場

遊具広場は体を使って遊ぶ広場。お日様の光をたっぷり受けて元気に遊ぼう！



⑦ 大知の滝

広場の中を流れる清らかな小川はこの滝が出発点。

④ 芝生広場

「あぶら」のことを学んだら、あとは芝生の上で寝転んでのんびり！

